

令和6年度
学校法人 大五洋
衣笠幼稚園
自己評価結果公表シート

1. 本園の教育保育目標

保護者の協力を得て、多くの良質な体験を通して自信を持たせ、園児個々の成長目標を達成する

- ・心情(Feeling)の豊かな子ども…「感情表出」「愛情」「他への理解」「申告意欲」「試行意欲」「連帯意欲」「正義感」
- ・態度(Manner)の良い子ども…「挨拶」「謝罪」「感謝」「懇願」「自己責任」「選択責任」「勝者の義務」
- ・自主的に行動(Behavior)できる子ども…「規律遵守」「忍耐」「勇気」「責任感」「委任追従」「自己主張」「自己顕示」
- ・個性(Identity)豊かな子ども…「演出表現」「演技」「言語」「心情表出」
「絵画制作」「興味・関心」「集中・熱中」「創造・想像」
- ・健康(Health)な子ども…「運動・体力」「走・跳・投」「泳・潜」「持久意欲」

2. 今年度、重点的に取り組む目標、計画

- ① いわゆる常識に囚われず、より大きく確実な個々のこどもの心身発達を獲得するための『向学心』・『探求心』・『人間性向上』の努力による新思考実践力を高める。
- ② 専門職としての『意識』・『認識』・『行動』の獲得に依る独自の継続可能な処遇改善を図る。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目(課題)		取り組み状況
①	新しい発想による保育環境	毎週FunDayを行い、子ども達がしたい遊びを準備をし、選択遊びを実施。クラス単位、学年単位で動くという今までの枠に囚われず、園外に行きたい子どもで遊びに行く計画を立て、公園や散歩のコースなど子どもが軸となって決め、実行している。
②	専門職としての『意識』・『認識』・『行動』の獲得	定期的にカンファレンスを行い(臨床心理士も参加)、担任だけではなく様々な角度から子どもの育ちを捉え、知識や学びの時間を持つ。そして、決めつけることなく多様なアプローチを試し、トライアンドエラーを繰り返す中で、子どもを育てる。
③		

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

これまで当園が力を入れてきた、「努力」や「やる気」で乗り越えて得られる達成感が「自信を生む教育」とするなら、子ども自身で考え、行動する機会がまだまだ少ないことを感じ、プレイチームによる「遊び」を展開してきたが、もっと子どもにドラスティックに与えられる「遊び」があるのではないかとこの動機から「自信を生む教育」と「地力を育てる遊び」の両方を目指すデュアルプロジェクトを始動。大切になるのは、子どもの地力「子ども自身の根底に備わる力＝本来の力」。その力を、どれだけこの大切な時期に育ててあげられるかが問われている。子ども社会でドキドキワクワクする経験を通し実体験を積むことで育つ力の獲得を目指し、毎週水曜日をFUNDAYとし子どもの自主性を尊重し、「やりたい遊びを思いっきりできるワクワクドキドキする日！」を開始。異年齢で好きな場所で好きな遊びを好きなだけ楽しむことで、子どもの満足度は高まり、各行事ではやる気と自信が溢れた成果となった。さらに保護者様からの喜びの声も多く、保護者アンケートではほぼ100%の満足度という結果となった。異年齢の子ども社会で遊ぶことは、自分の思いと他人の思い、自分の考えと他人の考えなどの共感や摩擦から他人との間合いを学びながら自分を出せる地力を育てることになる。次年度もさらに活動の幅を広げ、地力を育む良質な機会を提供していきたい。

5. 今後取り組むべき課題（次年度へむけて）

	課題	具体的な取り組み方法
①	組織としての弱点、強みの分析と強化	他園での研修機会を設け、自園との比較、分析を行い、課題の明確化と強化の具体策を検討し、実施していく。
②	専門職としての個々の自己改革	職員の「向学心」「探究心」「人間性向上」を目指し、斬新な機会を実施する。（チームミーティングなど）
③		

6. 学校関係者の評価

【少子化・コロナ禍を経て社会の流れや価値観は変化し、職員の『向学心』『探究心』『人間性向上』こそが機能の源泉であり、その為のあらゆる個々の専門職としての自己改革を行わなければならない。】という話から理事会は議題へと移りました。

- * 保護者の一番大切なお子様たちの健康状況は一定程度の感染症・事故などの報告はありましたが、皆様健康に回復されているようです。
- * 幼稚園教育の中でドラスティックな試みを始めたのがFUNDAYと称して毎水曜日を子どもの自主性を尊重し「やりたい遊びを思いっきりできるワクワクドキドキする日」にされたことです。異年齢の子供社会で好きなことをして遊ぶことは、社会で他人と自分の考えの共感や摩擦から他人との間合いを学びながら自分を出せる地力を育てることになる最大の機会であると思われる。この試みは保護者より100%の満足を得たそうです。理事会でも評価として多くの共感を得ました。
- * 衣笠児童館・ビーンズクラブを大五洋に移行し、より多くの子供たちに安全で多くの楽しみに触れられるように強化していく。入園児外の子供たちにも良質の学びの機会を増やす試み。
- * 土曜日保育に関して、土曜日専任の職員を増やし全く平日と教育の質は変化しない方針。
- * 本園の経営状態としては、税理士先生より安定した経営状態で良質であると評価された。

理事会としては理事長・園長・職員先生のご努力と保護者様の協力で本園の子供たちの健康で良質な発達に満足し、ますます良い方向に進んでいくことを願います。

理事会・評議員会